

キャラクター名  
八雲 渚 (やくも なぎさ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	神主
オプション		年齢	1200以上	性別	女
覚醒	命令	衝動	飢餓	初期侵食率	33 %
出自	権力者の血統	経験	旅	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	63
肉体	0	1	0			1	行動値	30
感覚	0	0	1	3		4	(非装備時)	30
精神	6	0	2	3		11	戦闘移動	35
社会	2	0	0			2	全力移動	70

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	39		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	6	
運転：一輪	2		芸術			知識			情報：UGN	1	
運転：			芸術			知識			情報：		
運転：			芸術			知識			情報：		
運転：			芸術			知識			情報：		
運転：			芸術			知識			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
妖刀	白兵	1r+38	4	10+1		
妖刀	白兵	1r+38	4	10+1		
リキッドブレード	白兵	1r+37	1	11+1		
リキッドブレード	白兵	1r+37	1	11+1		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
使用者	
対ワーディングマスク	
情報収集チーム	
ウェポンケース	
強化素材	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タメ
奇妙な隣人	P	N	
美那津岐比売命	P 信頼	N 嫌気	
都築京香	P 好奇心	N 猜疑心	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 16 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ハイパータフネス	10		常時	至近	自身	自動		
効果：	最大HP+[Lv×3]。							
ブラックマーケット	4	2	常時	至近	自身	自動		
効果：	常備化ポイント+[Lv×10]。							
灰色の脳細胞	1	2	常時	至近	自身	自動		
効果：	【行動値】に+【精神】。							
常勝の天才	7	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	ピュア	
効果：	ラウンド中攻撃力+[Lv×4]。自身対象不可。シーン1回。							
ファンアウト	2	4	セットアップ	至近	範囲(選択)	自動		
効果：	戦闘移動を行う。自身対象不可。シナリオLv回。							
オリジン：レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：	シーン中【精神】判定の達成値+[Lv×2]。							
オリジン：ヒューマン	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：	シーン中エフェクトを使用した判定の達成値+Lv。							
スーパーランナー	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	戦闘移動を行う。移動距離+[Lv×5]m。シーン1回							
コンセントレイト：ノイマン	3	2	メジャー					
効果：	C値-Lv。							
コントロールソート	1	2	メジャー	武器		対決		
効果：	〈白兵〉を【精神】で判定。							
スキルフォーカス	5	2	メジャー					
効果：	〈白兵〉判定の達成値+[Lv×2]。							
マルチターゲット	7	2	メジャー	武器		対決		
効果：	複数対象攻撃の達成値+[Lv×2]。							
マルチウェポン	7	3	メジャー	武器		対決		
効果：	攻撃に装備武器2つ使用。達成値-[5-Lv]。							

美那津岐比売命は須佐之男命と櫛名田比売の子であり、バラバラになった八咫遠呂智の魂の一部が生まれ変わった海神である。須佐之男命が出雲にて封じ、人々から忘れられて力を失っていた。しかし、封じた祠のもとに村が出来、村人は美那津岐比売命を八咫遠呂智だと知らずに再び祀った。美那津岐比売命は力を失っており、村人達の信仰だけではそれほど力を取り戻すこともなかった。ある時、村を嵐が襲う。村人達は美那津岐比売命に助けを乞うが、力を失った美那津岐比売命にはどうすることもできなかった。嵐の続く中、村は美那津岐比売命に生贄を捧げることにした。その時生贄として選ばれたのが八雲渚である。八雲渚を食らった美那津岐比売命は力を取り戻し、嵐を止めたのだった。

美那津岐比売命は民間信仰から生まれたレネゲイドビーイングである。とある漁村に女僧が訪れ、その存在を村人に教えた。神として祀られてはいたものの、その漁村でしか認知されておらず存在が希薄で力が弱かったのだが、渚が生贄として捧げられた際に取り憑き存在を確立させる。当時渚はただの依代に過ぎなかったが、時が流れるにつれ渚と美那津岐比売命が同一視され、渚も美那津岐比売命と同等の能力を行使できるようになっている。

水を操って戦う。水を武器としたり盾としたり様々。街中ではその辺の水道から水を引っ張ってきたりしているので割と迷惑がられているが、いざとなれば空気中の水分で何とかすることもできる。

